

目次

| | |
|--------------|---|
| ◇ はじめに | 1 |
|--------------|---|

第Ⅰ部 BCP 初版作成までの道のり

| | |
|-------------------------------|----|
| 1 ストーリー① 製造業 タートル製作所の場合 | 2 |
| 2 ストーリー② 小売業 クレーンマートの場合 | 13 |

第Ⅱ部 もしも大規模地震などに見舞われたら……

| | |
|------------------------------------|----|
| 1 企業の生き残りをかけて | 24 |
| 2 会社の緊急事態を生き抜くための備え、それがBCPです | 26 |
| 3 中小企業BCP策定運用指針を見てみましょう | 27 |

第Ⅲ部 緊急事態に強い会社を作る！

～BCP策定のワンポイント解説～

| | |
|-----------------------------------|----|
| 1 自社が被災する可能性の高い自然災害を把握しましょう | 28 |
| 2 会社にとって大事な業務を挙げてみましょう | 30 |
| 3 もし、会社が1か月間操業停止したらどうなる？ | 32 |
| 4 復旧に時間がかかる必要資源を把握しましょう | 34 |
| 5 緊急時の資金繰りについて考えておきましょう | 38 |
| 6 日ごろから代替手段を意識しておきましょう | 40 |
| 7 悩んだら、従業員や取引先などと話し合ってみましょう | 46 |
| 8 従業員や取引先との連絡手段を考えておきましょう | 47 |
| 9 今後、実施すべきことを整理してみましょう | 48 |
| 10 まずは、できることから始めましょう | 49 |

| | |
|---------------------|----|
| ◇より詳しく勉強するために | 52 |
|---------------------|----|

● BCP とは

企業が自然災害、大火災、テロ攻撃などの緊急事態に遭遇した場合において、事業資産の損害を最小限にとどめつつ、中核となる事業の継続あるいは早期復旧を可能とするために、平時に行うべき活動や緊急時における事業継続のための方法、手段などを取り決めておく計画のことです。

はじめに

中小企業が直面している経営課題は多様であり、受注確保や事業承継などの平時の企業存続のほか、地震や水害等の緊急事態に遭遇した場合の企業存続も重要な課題となっています。

緊急事態への備えとしてBCP(Business Continuity Plan: 緊急時企業存続計画又は事業継続計画)があり、国内でも自然災害発生時に実際に役立った事例が報告されています。近年ではBCP策定を取引の必須条件と考える国内企業も増えてきています。

また、BCPの検討は、企業戦略の見直しや、調達先の選定、資金繰りの見直し、競争相手との差別化、取引先との連携強化などに役立ち、事業承継などの平時の経営課題の検討と共通する部分も多く、これらと併せて検討することも有効です。

このガイドブックは、平成18年2月から中小企業庁のホームページで公開されている「中小企業BCP策定運用指針」を基に、中小企業等がBCPを策定する際に活用できるようにBCPの概要や策定方法等を整理したものです。

このガイドブックをきっかけに、多くの中小企業等がBCPに関心を持っていただくとともに、一社でも多くの企業がBCPを策定していただくことで、緊急事態に遭遇したときに少しでも被害を軽減し、一刻も早く復旧できる企業体質を作り上げることを期待しております。

平成21年3月
経済産業省中小企業庁